



たしろ

田っ中だより

共生・凡事徹底・挑戦

大館市立田代中学校

学校報 第16号

令和6年12月11日

TEL 54-3042

FAX 54-6063

E-mail: tashirochu@oodate.or.jp

ー正しい知識で助け合う社会へー 認知症サポーター養成講座

12月10日（火）、大館市高齢者福祉係の方をお招きして、3年生を対象とした認知症サポーター養成講座が行われました。日本で高齢化が進んでいることはご存じだと思いますが、中でも秋田県は高齢化率全国1位。さらに驚くことに、世界でも1位です。今後ますます認知症の方が増えていくと考えられています。こうした状況を踏まえ、本校ではこの養成講座を継続して行っています。大館市の認知症サポーターは、昨年度8000人を超え、今年の11月現在で8567名となりました。

認知症とはどんな病気なのかを学んだ後、実際に認知症の方とどのように接したらいいのか、声のかけ方を練習しながら研修を深めました。本人の気持ちに寄り添い、敬意をもって接することや、笑顔やスキンシップを大切にすることなど、多くのことを学びました。積極的に学ぼうとする3年生の姿に、福祉係のみなさんから褒めの言葉をいただきました。さすが田っ中学生ですね！



真剣に講習に臨む3年生



しっかり発表できました



優しく声かけできました



「座ってください！僕が押します！」 「お姉さん！」の声かけに腰がピン！ おじいさんへの返し、完璧でした！

認知症サポーター養成講座を終えて ～子どもたちの感想～

- ・認知症の方と接する時には、相手の顔を見てペースを合わせて関わる大切だと知りました。
- ・認知症という身近な存在について、理解を深められました。これからは今回の養成講座で学んだことを生かし、お年寄りに適切な対応をとれるようにしていきたいです。
- ・家族が認知症になりかけていて不安だったけれど、今回の講座で対応の仕方を知ることができたので、これから安心して接していけると思います。

地区ボランティア事前打合せ会が行われました

田代中学校の大事な行事、地区ボランティアに向けて、11月28日（木）に事前打合せ会が行われました。この行事も「ふるさとキャリア教育」の一環として、郷土愛の醸成や地域貢献力を育むことを目的に行われています。夏休み中のボランティアは、小・中学生と一緒にっていますが、冬季は中学生のみの活動となります。今回の打合せ会には29名の地区行政協力員、民生児童委員の方々がいらっしゃいました。町内ごとに12月26日（木）に予定されている地区ボランティアの内容を話し合いました。地域のために、有意義な一日になることを願います。



避難訓練を実施しました

11月25日（月）に火災を想定した避難訓練を実施しました。今回の避難訓練は、生徒自らが判断して避難することをねらいとして、生徒たちに訓練の日時を知らせないで実施しました。

非常ベルの後、避難開始の指示が出され、生徒たちは落ち着いた様子で避難を開始しました。全員避難が完了するまで2分45秒。スムーズに避難することができました。災害に限らず、自分の身の回りに起こりうる様々な危険を予測し、回避することが大切です。普段から、危険を予測する意識をもち、有事の際に備えてほしいと思います。



消防施設の操作訓練

－「税についての作文」大蔵財務協会理事長賞！－

12月2日（月）、「税についての作文」において、大蔵財務協会理事長賞に輝いた2年浅利 希さんの表彰が行われました。全国から43万5千通を超える応募がありましたが、浅利さんの作文は東北ブロックからただ一人選ばれ、全国規模での入賞となりました。大館税務署長さんから直々に賞状を受け取りました。

今回の受賞にあたって、浅利さんのコメントです。

「全国規模での入賞にびっくりしています。普段は税について考えたことがありませんでしたが、この機会に税金がどんなことに使われているか調べてみることにしました。そうすると、自分にもいろいろな関わりがあることに気づきました。今までは『税をとられる』という感覚でしたが、税に対する気持ちが変わりました。やはり『税金を納める』ことは必要なことなんだと実感することができました。」

